

# 純歌

ひとはな ことば  
人話す言葉には メロディー・リズム・テンポある それつまり歌ってるといふことである

じゅんか じゅんすい がっき ひつよう \*1うた がっき つ  
純歌とは 「純粹に楽器を必要としない歌」である 楽器を付けてもよいけれど  
こえ だ うたう \*2うた えん おもい うたわ  
声に出し歌ふのならば 歌を演じて 思ひ歌はな

じゅんか もじ じゅうにぎょういなし たんげん じゅうにぎょうこ ちょうげん い じゅんか  
純歌とは 文字の十二行以内を「短源」と 十二行超えると「長源」といひ 純歌  
きほん たんげん  
の基本は短源である

いちぎょう はば た か \*3れつつ つぎ れつ ひとま さ か  
一行を 幅が足りずに書けぬなら 列付けて 次の列に一間を下げて書けばよい

ひと じゅんか いちうた にうた さんうた う  
一つの純歌を「一歌」と そして「二歌」や「三歌」といふ

じゅんか だい つ いちきよく にきよく さんきよく う  
その純歌に 題を付けると「一曲」と そして「二曲」や「三曲」といふ

いちうた にうた にうた さんうた ま げんま い げんま てんふたつ ま なか う  
一歌と二歌や二歌と三歌の間を 「源間」といひ 源間には 「:」真ん中に打て  
ばよい

じゅんか うたい つく ひと うたか かしゆ う  
純歌を歌ひ作る人を 「歌家」や「歌手」といふ

\*4じゅんかうた うたう つく い \*2うた うたう よ う  
純歌は歌を歌ふとも作るともいひ 歌を歌ふとも読むともいふ

じゅんか あつ ほん じゅんかしゅう う  
純歌を集めた本を 「純歌集」といふ

じゅんか うたう そ うた  
純歌を歌ふ さう 歌を

- 
- \*1 純歌は文学であり、音楽であり、芸術である。
  - \*2 純歌は純歌を声に出して言う場合、歌う場合と読む場合の2種類ある。  
つまり純歌を声に出して歌う場合、単に読む場合とは異なる。  
分かりやすくいうと純歌を歌う場合、歌を演じる、つまり思い歌うのである。
  - \*3 純歌は行の中に列を設けて、一行目一列目や一行目二列目という様になる。
  - \*4 純歌は純歌を作る場合、純歌を歌うともいう。